

## 2023年度

科目名称	プロフェッショナルスキル
授業コード	BG379
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	1.0
担当教員	廣瀬 昇 (医療科学部), 中山 彰博 (医療科学部), 塚田 絵里子 (医療科学部), 奥田 裕 (医療科学部), 安田 耕平 (医療科学部), 小山 優美子 (医療科学部), 村上 憲治 (医療科学部), 松葉 潤治 (医療科学部), 潮見 泰藏 (医療科学部), 眞保 実 (医療科学部), 芹田 透 (医療科学部), 豊田 輝 (医療科学部), 金子 千香 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本科目は、臨床実習に必要な技能について、客観的臨床能力試験（OSCE）を実施する。授業内ではグループ毎にOSCEに備えた準備学習を行う。なお、臨床の現場で長年理学療法士として従事してきた経験を活かして、理学療法士が対象とする中でも代表的疾患（中枢神経疾患および骨関節疾患など）について、病態の理解および理学療法評価、治療方法について教授する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士としての臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野について演習・実習を実施する。
到達目標	代表的疾患（中枢神経疾患および骨関節疾患など）に対する理学療法を進める上で必要となる臨床技能（医療面接、評価、介入、等）について習得する。なお、この科目は、専門分野（理学療法治療学）の科目群のひとつである。
計画・内容	第1回 OSCE概要説明（全教員） 第2回 課題提示（評価） ，グループワーク（全教員） 第3回 質疑応答，グループワーク（全教員） 第4回 グループワーク（全教員） 第5回 OSCE実施 （全教員） 第6回 OSCE実施 （全教員） 第7回 課題提示（評価） ，グループワーク（全教員） 第8回 グループワーク（全教員） 第9回 OSCE実施 （全教員） 第10回 OSCE実施 （全教員） 第11回 課題提示（評価） ，グループワーク（全教員） 第12回 グループワーク（全教員） 第13回 OSCE実施 （全教員） 第14回 OSCE実施 （全教員） 第15回 課題提示（評価） ，グループワーク（全教員） 第16回 グループワーク（全教員） 第17回 OSCE実施 （全教員） 第18回 OSCE実施 （全教員） 第19回 課題提示 ，グループワーク（全教員） 第20回 グループワーク（全教員） 第21回 グループワーク（全教員） 第22回 グループワーク（全教員） 第23回 OSCE実施 （全教員） 第24回 OSCE実施 （全教員）
授業の進め方	計5課題についてOSCEを実施する。5課題について提示後、OSCEに備えてグループワーク（学生間による練習）を行う。途中で公開型の質問を受け、教員から回答を与える。

## 2023年度

能動的な学びの実施	学生への質問も活発に行う予定なので、積極的な授業態度が期待される。
授業時間外の学修	【事前学習】各課題を遂行する上で必要となる基本的知識について確認すること。 【事後学習】課題が達成できなかった項目や理解が不十分だった項目については十分復習しておくこと。 学習時間計1.5～2時間とする。
教科書・参考書	教科書：PT・OTのための臨床技能とOSCE コミュニケーションと介助・検査測定編 第2版補訂版、才藤栄一 監修、金原出版。 PT・OTのための臨床技能とOSCE 機能障害・能力低下への介入編 第2版、才藤栄一 監修、金原出版。 参考書：講義内で適宜紹介する。
成績評価方法と基準	計5回のOSCEの結果を総合判定する（100%）
課題等に対するフィードバック	OSCE課題について、実施終了時に全員に（口頭による）簡単なフィードバックを与える。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	本科目は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる臨床技能を客観的臨床能力試験で評価する重要な科目である。そのため、授業に対する十分な準備と自主的な取り組みが求められる。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 オンライン授業（Zoom利用）を実施する。 各回の授業確認課題を実施する。 成績評価方法と基準 計5回のOSCEの結果を総合判定する（100%）